

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	きりん教室 よしのがわ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	116	(回答者数) 93
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種構成になるよう職員を配置している。	・多職種で連携を取りながら、サービス提供が出来るように職員配置を配慮している。	・多職種で意見を出しあい、お子さんひとり一人に応じたオーダーメイドの療育がさらに深められるようにしていく。
2	・その日ごとの状況に合わせた支援が提供できるよう努めている。	・保護者やお子さまの、その日の様子を聞き取り、状態に応じた活動や、環境の設定を行っている。	・お子さまだけではなく、保護者や兄弟への支援もニーズに応じて取り組んでいく。
3	・お子さまが安心して過ごせる環境や活動を提供できている。	・活動内容をお子さま主体で設定したり、興味に応じた課題を提供している。	・引き続き、お子さまや保護者が安心して通所できるよう個々に応じた支援を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援プログラムや保護者会などの情報提供を行うことが上手くできていない。	・保護者会や研修などの実施が少なく、保護者への案内が出来ていない。	・法人内他事業所と連携し、保護者に案内できる情報が増やせるよう務める ・過去実施していた、保護者学習会の再開を法人に働きかける
2	・掲示物が保護者にとって分かりにくく、災害時の情報などの内容を上手く届けられていない。	・掲示物の配置場所が見にくい。 ・避難訓練に利用児全員が参加できていない。	・掲示スペースについて職員間で検討する。 ・避難訓練実施時に欠席した児童への対応について検討する。
3	・地域交流の機会を設けにくい。	・活用できる資源が少ない。	・地域資源の再確認を行う。 ・職員間で話し合いを行う。

事業所名 きりん教室 よしのがわ

公表日 令和8年4月1日

利用児童数 116人

回収数 83枚

有効回答数 78枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	・前の所より、少し圧迫感は感じます。 ・子どもが動ける場所が沢山あります。	・環境調整を行い、お子さまが安全に楽しく過ごせるようなスペースを提供する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。※基準の人数又は基準以上の配置を行っております。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、発達の状態に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	98.7%	0.0%	0.0%	1.3%	・知識が深くなく、判断しかねる所はありますが、配慮は出来ていると思います。	・安全に過ごせるよう、今後も環境に配慮し工夫していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93.6%	6.4%	0.0%	0.0%	・押し入れなどのレトロな環境が、息子世代には新鮮だろうから良かった。 ・そろ船の前の靴箱の汚れが気になった。 ・スイッチの位置がもう少し高いとうれしそうです。さわってしまうので。	・定期的に掃除を行い、清潔な環境を保てるよう努めます。 ・お子さまや保護者が安心して過ごせるよう、引き続き環境設定に配慮する。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの様子等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97.4%	1.3%	0.0%	1.3%	・担当して下さる方による。 ・状態に合わせて対応して下さい。	・必要に応じた支援が行えるよう、専門職を交えて協議を行っていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96.2%	0.0%	0.0%	3.8%		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%	・一部の支援者に違和感があった。 ・時々状態を相談し状態に合わせて下さっている。	・何かしら違和感を感じた際には管理者までお声がけください。 ・お子さまに合ったより良い支援を提供できるよう、職員の専門性を高めていく。
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96.2%	1.3%	0.0%	2.6%	・具体的ではないと思う。	・保護者に分かりやすくお伝えできるよう、具体的に説明していく。
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	97.4%	1.3%	0.0%	1.3%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	93.6%	1.3%	0.0%	5.1%		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。（保育所や認定こども園、幼稚園等に通っているお子さんは「はい」に○を付けてください）	97.4%	0.0%	0.0%	2.6%		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等（重要事項説明書等の説明）について丁寧な説明がありましたか。	97.4%	1.3%	0.0%	1.3%		
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	98.7%	0.0%	0.0%	1.3%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	74.4%	9.0%	1.3%	15.4%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%		
	16 定期的に、相談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93.6%	3.8%	0.0%	2.6%	・週1通えているので相談できる機会が多く助かる。	・保護者のニーズに応じて対応していけるよう掛ける。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・体調が悪い時(精神的)には横になれる(母が)ようにして下さいたり、話を聞いてくださる。	・保護者やお子さまに合わせて、寄り添った支援を提供を継続していく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30.8%	21.8%	5.1%	42.3%	・私たちが知らないだけかもしれませんが…。	・保護者会などの活動や、きょうだい向けのイベントの開催機会が少なく、告知も出来ていなかったため、今後希望に応じて対応していけるよう法人と検討を行っていく。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92.3%	2.6%	0.0%	5.1%		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	97.4%	1.3%	0.0%	1.3%		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等（きりんだよりやインスタグラム等）で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	80.8%	9.0%	0.0%	10.3%		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	98.7%	0.0%	0.0%	1.3%		
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	73.1%	6.4%	0.0%	20.5%		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	64.1%	6.4%	0.0%	29.5%		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88.5%	3.8%	0.0%	7.7%		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	79.5%	6.4%	0.0%	14.1%	・記憶に残っていない（説明があったと思いますが） ・担当して下さいの方による。	・事故や怪我等の発生時には、速やかにご報告と説明が出来るよう職員間での共通認識を強めていく。
27 子どもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・とても楽しみにしています。	・今後も安心感をもって通所していただけるよう対応していく。	

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回とても楽しみにしています。出来た事や楽しかった事を話してくれます。 • その日の気分による。 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続きお子さまが楽しんで活動に参加できるよう工夫していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> • 相談などにも対応して下さり、とても満足しています。ありがとうございます 	<ul style="list-style-type: none"> • お子さまや保護者のニーズに合う支援が行えるよう、今後も対応していく。

事業所名 きりん教室 よしのがわ

公表日 令和8年4月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	77.8%	22.2%		・制度上の職員配置基準は満たしているものの、午後はもう少し人手が欲しい時もある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%	0.0%	・危ない箇所にはクッション材を当てる等している。	・現状の建物における廊下がつるつるしていて気になる。何らかし対応策が必要かどうか協議する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	・トイレが古い箇所もあるようだが部屋は基本的に清潔に保てていると思う。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	・個別の部屋だけでなく、テントや押し入れを活用するなど上手く利用できていると思う。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	77.8%	22.2%		・職員が全員そろっての振り返りができるような時間を確保していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%		・共通認識がさらに深まるよう会議時の協議の仕方を工夫していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	77.8%	22.2%		・教室内で集めた職員からの意見を、業務改善部に共有し、教室内での業務改善に繋げていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%		・職員によって参加できない場合がある。 ・参加職員からの伝達研修を通して、研修内容の周知に努める。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	・保護者や園への聞き取り、行動観察に加え標準化された検査を行い個別支援計画を作成するようにしている。	
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・職員間で意見を出し合い、個別支援計画を作成するよう努めている。 ・お子さまの最善の利益を意識しながら、検討するよう努めている。	
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%		
	16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	88.9%	0.0%		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88.9%	11.1%		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・サーキットを組むなどして工夫している。	・大型遊具の配置も定期的に変更できるように協議する。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88.9%	11.1%		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88.9%	11.1%		
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%			
23 定期的にもモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%			
24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%			
25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%	0.0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%	0.0%		
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100.0%	0.0%		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100.0%	0.0%		・法人内の各専門職や外部講師を招き研修会をする、あるいは外部研修に参加するなどして質の向上には力を入れている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	88.9%	11.1%		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	88.9%	0.0%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	66.7%	22.2%		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%		・活動後あるいは必要に応じて保護者と話す時間を設けられるよう努めている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	77.8%	11.1%		・ペアレントトレーニングの定期開催に向けた協議を再度行っていく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%		
	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	66.7%	33.3%		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	77.8%	22.2%		・現状でできることについて法人と協議していく。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	
46		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88.9%	0.0%		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88.9%	0.0%		・環境安全委員会が中心となり安全確保について、安全計画に基づき対応を行っている。取り組みについては「委員会便り」にて周知されている。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%		・壁面への周知のみでなく、「委員会便り」を案内する声掛けも行っていく。
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%			